

藤本ひろしの

市議会報告

日本共産党

NO.12

2006.9.4

発行

日本共産党岩国市委員会
岩国市山手町1-3-3 (電話 22-245)

市議会議員 藤本博司
岩国市麻里布町1-8-27
電話FAX 22-3009

日本共産党議員団のホームページ
http://www5f.biglobe.ne.jp/iwakuni



藤本ひろし市議会議員



建設中の新庁舎

国のうそを追及
庁舎建設補助金保留で
藤本議員、参議院議員と連携

藤本議員は、6月2日、議会全員協議会で防衛施設庁の施設部長渡部氏が、議員の質問に答えて「新庁舎の建設に関する補助金11億3千万円を保留している」ことを明らかにし、このことについて、仁比聡平参議院議員と連絡を取り合い「渡部厚施設部長がうそ」を言っていることを明らかにしている

渡部部長は、新市の議長が防衛施設庁においでになり、「新市で庁舎建設について異論がある」と聞いたので市議会の議論を見守るため、今年度の補助金について、留保している」と回答した。

議員とのやりとりは、仁比参議院議員―岩国市に補助金交付を保留決定したのはいつか?。防衛施設庁―4月中旬下旬である。仁比参議院議員―議長の訪問を受ける一ヶ月も前ではないか。あたかも議長訪問が理由として説明しているが事実経過を見れば議長訪問が口実に使われているだけではないか! 防衛施設庁―返答なし。(略)

以上のやり取りを私は翌日14日の一般質問で紹介し、艦載機受け入れを拒否している岩国市への圧力だとして、国の補助金保留の不当性を指摘しました。15日の山口新聞はこのことを4段抜きで報道しました。

ただいま返信354通

アンケートへの協力ありがとうございます

日本共産党岩国市委員会が今年5月から6・7月にかけてみなさんをお願いしていた「市民アンケート」は、新市全体で1100通を超える返信があり、藤本区でも前回は大幅に上回る354通の返信がありました。ご協力を戴いたみなさんへ心からのお礼を申し上げますとともに、日本共産党の市政政策の中にしっかりと活かして生きたいと考えています。

1番の関心は空母艦載機移転問題

66%、7割近くが関心

沖合いに滑走路を移転するのは、今でさえウルサイ飛行機の音をなくすためなのに、さらに、戦闘機を増やすのはズルイ。

議員はもっと住民のために、騒音反対と中央に訴えて欲しい。市長を助けて広島市や大竹市と協力して日本国内で戦闘機を飛ばして欲しくないです。

80代 男性

住民投票、市長選挙を通じて市民の意思は「移転反対」ではっきりとしています。日本共産党は、志位委員長が岩国を視察し、講演を行うなど党を挙げて、保守・革新を問わず幅広い人々の共同の力で市民の願いを実現するために頑張っています。

小泉内閣の痛みを求める政治への悲鳴の声

市・県民税が平成17年度は4500円だったのに、18年度は20300円。4倍以上に上がった。何とかしてもらいたい。

70代 男性

もっと早く子育て支援をして欲しかった。生んだときだけでなく、子育て中に支援の重点を移して欲しい。親子4人で(子ども3人母子家庭)毎月33000円も介護・健康保険を払っているが、大変です。

40代 女性

小泉自民・公明内閣は、昨年の総選挙の時には増税をひた隠し、選挙が終わるやいなや、定率減税の廃止や各種控除の見直しなどの増税を行いました。

今回一番問題が生じたのは、65歳以上のお年寄りで、年金からの控除が140万円から120万円に下がったため、人によっては所得税が発生し、住民税も何倍にもなりました。一部には、合併したためとの誤解もありますが、責任は、小泉内閣と増税に賛成した国会議員です。日本共産党は、庶民増税に反対してがんばってきました。

艦載機部隊の岩国移転で 東地区・装港地区は 大きく騒音範囲が広がる

藤本議員は議会で、山口県の二井知事が、「空母艦載機を岩国に転移しても騒音は増えない」と発言していることについて、岩国市の見解を尋ねました。村安基地担当部長は「移設後W値は1・3ポイント増加している。岩国市の東地区とか装港地区の方には大きく騒音の範囲が広がっています。騒音の影響は発生してくる。」

NLPの事前訓練が岩国基地で実施された場合に、騒音が市街地の方まで広がることも予想される」と答弁し、事実上の発言を批判



騒音の大きいスーパーホーネット

介護保険制度改正で 介護が必要な人から介護をとりあげるな！

藤本議員、利用料の減免制度の創設を要求

藤本議員は、税制改悪や医療改悪、介護保険料の大幅引き上げ、年金控除が140万円から120万円に引き下げられ、お年寄りが大きな不安にかられている現状の中で、

デイサービスやショートステイの利用回数を



減らしている利用者の声を取り上げ、「岩国市独自の利用料の減免

制度」をつくれと求めました。

また、4月から要支援、要介護1に該当するお年寄りに新しく「筋肉トレーニング」をさせるとか、生活援助、家事支援を介護保険からはずすなど、お年寄りの間で、不安が

岩国駅東口が10月から開放に

岩国駅東口が10月より、午前6時から午後9時までの間開放されることが決まりました。住民の強い願いを背景に、岩国市がJRから乗車券を販売する業務を



請け、それを業者に委託する方式で実現します。収入を半年分で165万円ぐらいを見込み、不足分を補填する方法で行います。岩徳線の玖珂駅、高森駅などはほぼ同様のやり方で業務が行われています。

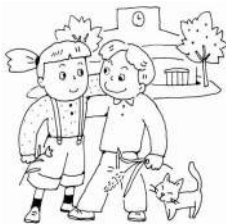
広がっていることについて質すとともに、介護が必要な人から介護を取り上げることにならないよう、強く求めました。

小瀬小学校へ 放課後児童教室を要求 あわせて保育時間の延長を求める

藤本議員は6月議会で、2年前にも取り上げた小瀬小学校への放課後児童教室の開設を再び求めました。2年

前に保護者のみなさんの要望を聞き、取り上げましたが実現できませんでした。今回所管が教育委員会から児童家庭課に変わったこと

児童手当の対象が 3年生までから6年生までに 引き上げられます



市の答弁は教室については「具体的要望が寄せられれば十分に検討する」保育時間については「声を聞いているので今後検討する」とのことでした。

児童手当の対象年齢が小学校3年生までから6年生までに拡大され、所得制限が引き上げられました。約9億6千万円を予定。母子家庭への児童扶養手当が児童1人に付き月額4万1880円を支給。5億7千万を予定。第3子以降に10万円の出産祝い金。合併後7月10日までに42件の申請。2千5百万円を予定。

共産党は議員アンケートを拒否 — 本田議長に抗議 —

本田嗣郎市議会議長は日本共産党などの反対を押し切り、市議員に匿名で「米空母艦載機の岩国移駐はあると思うか？」などとアンケートをおこないました。結果、市議員110人中65人(59%)が回答しました。回答した65人中61人があると思うと回答し、本田議長はこの結果を国や県に報告。日本共産党は「議長の職権乱用で、空母艦載機呼び込みの突破口を開こうとするパホームンスだと」抗議しました。



小瀬小学校

多くの議員が求めていた保育時間の延長も現在の5時から6時まで伸ばすよう求めました。岩国